



# ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2018 vol.3

## E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

### 『ERFC清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました!

今回こそ年内の報告号発送となりました。清里ミーティングのご報告をさせていただきます。  
と言う事で、さっそく当日のイベント報告から。

#### イベント報告

今回で 29 回目、世間で言うところの「平成最後の」ERFC 清里ミーティング。昨年は参加申込の受付開始時にアクセス集中で皆さまにご心配やご迷惑をおかけしてしまったこともあり、ついに今年は初めての抽選制を採用することといたしました。

先着制でなくなったからか、受付開始からの反応は昨年よりも確実に遅くて「これはもしかして抽選無しでも?!」と期待もしたのですが、やはり受付期限が近づくとゆっくりコンスタントに申し込み数は増えてゆき、最終的には100台の枠に対して114台の申し込みをいただきました。そんなわけで、残念ながら今年も一部の皆さんにはお断りをせざるを得ませんでした。申し訳ありません。

そんな選ばれし民の集いとなった今年の清里ミーティングは、清泉寮さんの努力もあり(?) 史上最高だったかどうかは記憶が定かではありませんが、昨年の台風で短縮授業になった借りを、熨斗付けて化粧箱に入れて返してくれたようなこれ以上ない好天の下で開催することができました。

参加者の皆様のご協力もあり、2年振りに牧草地にナナメ45度でロードスターが並ぶ光景は主催する私たちも感動です。

そんな今回の清里ミーティング。恒例の午前の研修内容(by 清泉寮)は、マツダ株式会社 カスタマーサービス本部から伏見 亮さんをゲストにお招きして、今一番熱い NA のレストア事業についてのあれこれを伺いました。

メディアへの紹介資料などを使いながら、レストア事業開始までの足取りから始まって、レストアの流れを実際の作業写真や一部の復刻パーツなどを実物で紹介しながら、特にパーツについては復刻にあたって何をどうこだわってきたのかや復刻実現への苦労話(逆に現状ではクリアできていないものも)な





どをお話いただきました。その内容に納得しながらも、いざフルレストアを受けようと思うと「485万円から」って話に来場者がビビったり、一方で年間6台を予定している中で申し込み数が40件を数えると言う事で今から申し込んでも何年後になることかとなんとも複雑な笑いがおきたり。一方で、復刻パーツの方はより現実的(?)と言う事で、皆さん興味深く聞いていました。例えばタイヤの話はタイヤパターンありきでの開発の難しさや、それもタイヤパターンを同じにすればよいと言うわけではなく当時より進化した材料を使って当時のテイストを再現する御苦労など、非常に興味深いお話でした。

で、ここからが清里ミーティングの不思議なところ。伏見さんが話していたレストアやパーツ復刻に直接関わっている人が何故か何名も会場に「たまたま」来場していると言う奇跡！皆さん、プライベートでのご参加のため、ここでは名前は伏せさせていただきますが、貴重なお話を伺う事ができました。そう、油断してはいけません。今回のようにロードスターに関係した人がしれっと参加者として混じっていることがあるのが清里ミーティングの面白さ。あなたの近くに座っている酒臭い人が思った以上の重鎮かもしれませんよ。(苦笑)

さてNAに特化したような前半を終えて、休憩を挟んだ後半はデルタ工業とブリッドが共同開発したNAからNDまでどれにも対応してるロードスター専用シートについてのお話。

残念ながら今回のお話を進めてくれたデルタの藤田取締役は都合でおいでになれませんでした。デルタからは代理で川崎さん、ブリッドからは高瀬社長。そして二社を引き合わせた元マツダで今は自動車ジャーナリストの小早川隆治さんにご登壇いただきました。今回のシートはロードスター専用開発するにあたり、ドライビングポジションに徹底的にこだわってきたブリッドと、シートを工学と医学の観点から突き詰めているデルタとがタッグを組んだシートになったと言う事で、小早川さんを含めてそれぞれの思いを語っていただきました。中でも車からドライバーが受ける各種振動と疲れの関係や、それをシートで低減する考え方などのお話は興味深いものでした。

駐車場にはデモカーとして来年発売予定のシートを装着したNDとNAが用意され、午後のフリータイムでは皆さん座り心地を試していました。

しかしまあ自分たちで言うのもなんですが、毎年濃い内容だと思案中、今年は特にゲストが(そしてプライベート参加の皆様までも!)充実しすぎて、午前中の限られた時間の中で聞けたのはほんのさわりだけだったような気がします。



さて、昼食は今年も鉄道好きにはこの近辺の駅弁でおなじみの丸政さんのお弁当。今回はいろいろあってご飯がグレードアップするなど、例年よりもちょっと豪華になっていたとか。そんなお弁当を高原の風を受けながら牧草地で、あるいはゲストと共に午前のお話の続きを伺いながらと、参加者は思い思



いの場所で楽しんでいました。そうそう。今年は参加者の佐藤さんが駐車場で弾き語りのライブ(公認企画です)を披露しておられました。青空の下、ロードスターに囲まれた中で歌う御気分はいかがだったでしょうか。

そして例年通りに閉会式！そしてじゃんけん大王降臨！・・・と言う流れでじゃんけん大会が開催されたのですが、ここでも隠し玉がありました。今回一般参加されたユーノスロードスター開発関係者で実は2年前のゲスト(詳細は後述w)と言う方から、謎のパーツの提供！これはNA試作時に提案していた幻のエンブレムを再現したものだとか。金属製で重みのあるそれは面の構成も複雑で、見る方向により表情を変える今のマツダデザインに通じる点もあり、インテリアとして飾りたいとの声も。結局これはじゃんけんではなく、西日本豪雨のチャリティ活動の一環として希望者の皆さんに買い取っていただくことになりました。

また、このところ何故か参加者の皆さんからご提供いただく商品(手作りクロックだったり、自家製のお米だったり、西日本限定のカールだったりw)がジワリと増えてきて、それを捌く我々スタッフもうれしい悲鳴です！そして今年も福田ご夫妻の手作りロードスターグッズで締めかと思えば、最後にデルタさんから午前で紹介したシートを使った特製のデスクチェアをご提供いただきました。(目録代わりに提供用ボード付きw)どの賞品を手にした皆さんも是非大事に使って(一部、美味しくいただいて)くださいね。

と言うことで、いつもより時間が押す中で今回はお開き。

来年は10月に三次テストコースで30周年記念のイベントもありますし、30回目の清里ミーティングは少し遅めに11月の開催になる予定です。30回目と言ってもいつもと同様様なスタンスで開催できたらなあと思っています。

ご参加の皆さん。ありがとうございました。また清里でお会いしましょう。

(実行委員長まめぞう)

---

では、以下はスタッフからのひと言ふた言。

まずは「ナナメ45度に並べ隊」こと駐車場係のみなさんから。

---

### 「2年ぶりのナナメ45度駐車」

駐車場&弁当掛け紙制作担当の前田です。ミーティングご参加ありがとうございました。今年はこれまで開催した中でも最高の部類に入るくらいとても良い天気でした。一方、その前の年は台風の雨の影響で牧草地がぬかるみ、やむを得ず一般駐車場に「普通に」停めて頂きました。と言う訳で今年は2年ぶりの「ナナメ45度駐車」となり、上手く誘導できるか若干不安を感じていました。しかし参加された皆さんのご協力により何とか成功する事が出来ました。なかに数名、勢い余って行き過ぎちゃったりした方もいらっしゃいましたが(^j

この駐車方式は参加される皆さんの「運転技術」と待ち時間を楽しむ「おおらかな心」が必要不可欠です。



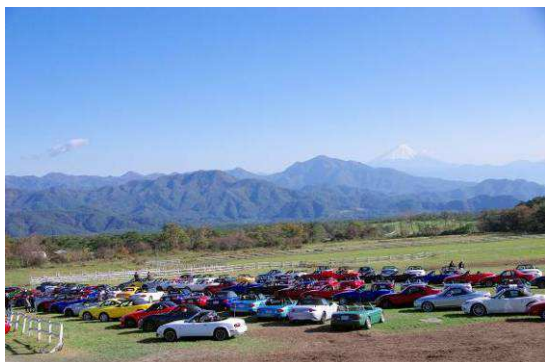
ただ車を停めるだけなのに長い時間お待たせしてしまい「何とかしなければ」と毎年心苦しい気持ちはあるんですが、スタッフの数に限りがあるもので、何か画期的なアイデアが出るまではしばらくご容赦ください。

弁当掛け紙については今年は久々にクルマ単体を描きました。昼食時、掛け紙を手に「ルームミラーがフロントウインドウに接着してあって鉄ホイールだから云々…」と、年式やグレードの話をされている方々を見かけた時「描いてよかった」と思った瞬間でした。また来年も清里でお会いしましょう。

(まえだ)

---

## 「誘導とジャージーハットと」



駐車場誘導で、斜め45度最後の停車係をしていた者です。前年の台風襲来でアタフタしたのとは打って変わり、いままでで最高の天気だったのではないかと思える青空これは気持ちよく綺麗に並べ終わった後、皆さんに喜んで頂けるようにと気合が入りました。が、気持ちとは裏腹にいつもなら皆さんの車を動かす様子を見て、ストップの声を掛けるタイミングと停車するタイミングとを計るのですがこの日は合わないが多かった・・・ジャージーハットが大きくなり、誘導のライン取りをどうするか、打ち合わせしてる時から何となく感覚がいつもと違っていたのかなあ何はともあれ、事故なく並べられて良かった、来年も宜しく願います。

(なみちゃん)

---

## 「29回」

駐車場誘導お手伝い係の大橋です。と、思っていたのですが、数年前から「スタッフ」の名札を手渡されております。あれ？

元々は皆様と同じ、いち参加者でしたが、ある年にどー見ても人手が足りてないように見えた年がありまして、僭越ですが駐車場のお手伝いをいたしましょうか？と名乗り出たのですが、、、気がつくと毎年「準」スタッフ扱いになり、遂にはスタッフの一員とあいなりました。

とは言え、やはり当日だけのなんちゃってスタッフなので、本物の？スタッフの皆さんの苦労と尽力には頭が下がります。なかなか外から見ていると判りようもない数々の苦労が本物のスタッフの皆様にはあるのですが、それでもめげずに29年も続けていると言うのは凄い事だと思います。辛い苦しいでは29年も続かないのは当たり前ですし、金銭的なメリットなど何もないスタッフの唯一にして最大のご褒美は「楽しい」と言う事でした。皆様の笑顔！と言う優等生的な解答もアリですが、それ以上に自分が楽しまなければこんなに長くは続かないのですよね。次回は遂に30回です。ますます楽しいイベントにいたしましょう！

(おおはし)

---

## 「Facebook もやっています」

駐車場とホールの間を行ったり来たりしながら、Facebook ページにちょこちょここと前日～当日の様子を掲載していた者です。

クラブの Facebook ページは2014年(25回)から始めたのですが、見直してみると台風の来襲した昨年を除くと大体毎年同じような画になってしまってますね…。マンネリな画にもかかわらずコメントや「いいね」を頂いた方々、ありがとうございました。

今年はお天気が良かったのもう少し駐車場で撮った画像を載せても良かったかも…ですね。参加された皆様も八ヶ岳や富士山を背景に入れて思い思いの記念の画像を残されたのではないのでしょうか。願わくば来年も今年のような好天に恵まれることを祈ってます。

(わだ)

---

## 「ホールの誘導係から ～その1～」

「おはようございます!」「受付はあちら側からお願いします!」と坂道をのぼってきたみなさんを、ホール入り口でお迎え・誘導を担当していますしのぶです。貸し切りのイベントと気付かずに中を見ようとされる方もちらほらいらしゃいまして、名札のあるなしで判断しているので、名札をホールに置いて外にでちゃったという方にも声をかけてしまうこともありました。ごめんなさい。

ジャージーハットが夏にリニューアルし、フードメニューも増えましたね。毎年、楽しみにしているプリンがガラス瓶入りになりお土産にもしやすくなりました。今年は暖かくてソフトクリーム日和でしたが、どんなに寒くてもジャージーハットのプリンとソフトクリームを食べないわけにはいかないのです。来年も良いお天気に恵まれますように!

(しのぶ)

---

## 「ホールの誘導係から ～その2～」

今年はお天気サイコーで気持ち良かったですね!ホールから見下ろすと、皆さんご自慢のロードスターと可愛い牛さん、彼方に富士山の景色…が思い出されます。

私はこのイベントが年に一回のドライブで、とても楽しみにしています。オトナの遠足って感じですかねー。

お弁当、美味しかったですか?

ホールでのお話、いかがでしたか?

楽しい時間を過ごしていただけましたか?

また1つロードスターとの思い出が増えたなら嬉しいです。

ではまた来年!



(かなこ)

---

## 「拝火教?!」

「社名マツダは、西アジアの文明の発祥とともに誕生した神、アフラ・マズダー (Ahura Mazda) に由来します。マズダーを東西文明の源泉的シンボルかつ、自動車文明の始原的シンボルとして捉え、また世界平和を希求し自動車産業の光明となることを願って名付けられました。マツダの創業者でもある松田重次郎氏の姓にもちなんでいます。」と公式 WEB に書かれています。

ゾロアスター教、別名「拝火教」。その最高神が MAZDA。

自宅で炎を見るのが少なくなった今、毎年、清泉寮の暖炉の炎を見るたびに、MAZDA=拝火教の関連を思い起こします。暖炉は林の中にあるキャビンにだけでなく、新館ロビー前にもあり、この季節はとろりと甘い焼きマッシュマロのセルフサービスもあります。

さて、今年の清里ミーティングのさりげない最大のトピックは、昨年明かされた、NA チーフデザイナー 田中さんが密かにデザインしていたという幻のエンブレムを見ることができたことではないでしょうか。

製法は不明ですが、銅の鍛造にクロムメッキされたものでしょうか。ずっしり重く彫りの深いものですが、バリなど無くきれいに仕上げられています。

能面モチーフの NA とは違い、炎にも鳥の羽にも何かの仮面にも見えるそれは、まさに拝火教をイメージさせる神秘的なデザインです。それをじっくり見ると、十二単がモチーフという(個人的には旧農協マークの稲穂)ユーノスや、今のマツダの「フライング M」マークも、この田中さんの案をソフィスティケートしたのに見えてきます。



30年近く経つ今も新たな発見があるのもロードスターや清里ミーティングの魅力といえるでしょう。来年も何かの発見のためにも皆さんの参加をお待ちしております。

(片貝)

## 「親子でスタッフ頑張ってます」

末端構成員 A

今年はお天気がよくて本当に気持ちよく皆様をお迎えできて大満足でした。比較的近くからお越しいただく方も遠くからいらっしゃる方も、朝お迎えするときには「ご無事何より」お見送りするときは「お気をつけて」と思っています。初めてご参加いただいた方も、何度もご参加いただいている方も、その瞬間、その時に共有する空間、空気はその時だけのもの。(清泉寮もなんだか毎年少しずつ進化しているようです) 至らないことも多かったかと存じますが、一緒にイベントを楽しく和やかにしようとしてくださる皆様のスタッフへの心遣いにいつも感謝しております。本当にありがとうございました。

\*私個人としては、今回はお客様に四足のふさふさした方もいらして、さらにハッピーでした。



末端構成員 B

黒松は、美味しいし、晴れの日あとから起こる交通渋滞の中で食べられるのでいいと思います。

場所もいいと思います。ホテルのところだから泊まる場所もあるし、ジャージーハットのソフトクリームが美味いからです。

(わだ構成員 A & B)

## 「受付窓口の苦悩」

「平成最後の」が飛び交う昨今ですが、今回の清里ミーティングはいかがでしたでしょうか？

昨年の受付時の惨状(??)を反省して、平成最後の清里ミーティング(おい!)のエントリーの方法をどうするべきか、、、今年の準備は全てそこから始まったと言ったら大袈裟?いやいやホントに最初から最後までエントリーどうしよう…と頭を悩ませました。

実は、これまでの清里ミーティングを振り返ってみても、締め切りを前にお断りをするとか絞るといった経験がほとんどなく、寧ろ参加していただく台数をいかにして100に近づけるかを思案し続けてきました。だからここ数年の、エントリー開始したと思ったらあっちゅうまに100台になるなんて想定外、意味わかんない、ありえませ〜ん、なのです。もちろん、とてもありがたいという気持ちに偽りはありませんが、同じくらい戸惑っておりました。

さて、どうやったらうまく100台に納められるのか?だいたいお断りするって気持ちの良いことではないです。そんな答えの見えない問いに悶々と悩み続けた挙句、絞り出した答えは「抽選」、

オイオイって突っ込みが聞こえてきそうですが、他に名案は無い、と開き直りました。正直、少し負けた気もしましたが、、、

何はともあれ、今回のエントリーで早々にお断りした方には本当に申し訳ありません。ごめんなさい。

さて来年。

同じ会場で同じように開催する限りは、キャパシティの関係で100台迄とさせていただくことになります。これ以上エントリーが増えな…いやいや、兎に角みなさんになんとか納得していただける様に出来るといいなあ、うまいことやりたいなあ、でもやはり抽選になるんだらうなあ、などなどつらつら考えながら、年を越したいと思う受付担当であります。

皆さん良いお年を。

(つのやま)

---

## J58G Hiroshima の佐竹会長からエンブレムのチャリティーに関する報告が届いていますのでご紹介

清里ミーティングご参加の皆さん、お疲れ様でした。そしてスタッフの皆さん、ご苦労様でした。Club J58G Hiroshima 会長兼田中俊治のマネージャーの佐竹です。

田中俊治オリジナル？エンブレムチャリティーにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。田中さん自身は皆さんに差し上げたかった様ですが、清里ミーティング参加者全員にお配りするだけの数がなく、苦肉の策としてチャリティーという形にさせていただきました。田中さんは本意ではなかった上に高額で買っていただき、心苦しくもあり有難くもありと言っておりました。

集まりましたチャリティー金は田中さん本人の希望で、信仰されている毘沙門天の権現山毘沙門堂修復費として寄付することになりました。また何年後かに田中さんが清里ミーティングに参加した際に、報告をして頂こうと思っております。

ありがとうございました。



(J58G Hiroshima 佐竹)

---

ラスト前は一部で熱いファンが居るレディース通信を。

### 「どうでもよかない ～レディース通信～」

この数年、街を歩くと人にぶつかられることが多くなった。ワタシがぼーっとしているわけではない。歩きスマホ組はこちらからよけるし、十分周囲を見ながら歩いているつもりだ。それでも、ドン！とぶつかられるのだ。ぶつかってくる相手を見ると、スマホを見てはいない。よそ見をしてもない。ただ、まるでこちらが見えていないかのようにまっすぐ歩いてきてぶつかってゆくのである。どんな怪奇現象だよ。

ぶつかられた直後に、近くのウィンドウを振り返るとちゃんと自分の姿が映っている。透明人間になってはいないようだ。

では何でぶつかられるのか？疑問は解けないままだった。

ところで、昨年ちょっと病気をしてから、化粧というものを改めて見直すことになった。担当医は家に引きこもっては良くないと言うが何しろ顔色が悪いから、そのまま外出するのはちょっとはばかれる。もともとナチュラルメイクという名の手抜き化粧しかしていなかったので、眉やら口紅やらもう少し盛ってみることにした。

そうして外に出てみると、不思議なことにはぶつかられることが格段に少なくなったのである。「病人です」と札を下げてはいないのに、なんで？

つらつら理由を考えてみると、どうやら化粧のせいらしい。「盛り」が少ない日はぶつかられたり、ぶつかられそうになるが、きちんと盛れている日はそういうことがない。念のために言うておくが、「盛る」と言ってもバカ殿の白塗りや、ドラッグクイーンみたいなレインボーつけまつげを付けたりはしていない。あくまで以前より少ししっかりめというだけで常識的な範囲である。そりゃ白塗りにしたら絶対ぶつかられないだろうけど。

ではなぜ化粧ひとつでそんなに変わるのか。たぶん、「存在感」なのだろう。化粧をきちんとすると、多少なりとも自信が持てる。その気持ちが見えないバリアのように自分を守ってくれるのではないだろうか。かの中島みゆき嬢は化粧なんてどうでもいいと思っていたと歌ったが、どうでもよかないのだ。方向性はいろいろだけど。

そこにあるだけで人の心を動かす我らがロードスターほどではなくても、他人が自然に気づいてくれる存在感を手に入れられるよう、修行の日々はまだまだ続くのであった。

(つのやま@にし)

---

### 『編集後記』

清里ミーティングの直前に14回目の車検を受けたうちの元年式スクラッチレッド号。マツダによるレストア開始アナウンスに心ときめいたものの、さすがに現実問題(金額)のハードルに断念。そんな中、車検で「そろそろタ

イヤの溝が」と指摘されて、否応なく次のタイヤの品定めを始めることに。しかし近年 185/60R14 はあるにはあるけど、選択肢は激減！最盛期は各メーカー毎にスポーツタイヤでもテイスト違いで複数のラインナップが揃っていたんだが、今やエコ系とスポーツ系の2ラインがあれば御の字状態。

もちろん復刻版 SF325 も候補に挙がるも、ディーラーで見積もると値引き無しで論吉さんが行列為して去っていくので断念。せっかく清里でレストアやタイヤ開発に携わった方とお会いできそうなので、次善のタイヤ選択としては何がいいかと相談することに。（街乗り+ツーリングでリーズナブルに！）

ところがいざ聞いてみると当日の話にもあったように「そもそも開発のベースとなるべきタイヤがなかった」と言うことで、SF325 一点の猛プッシュ！相談のつもりが半ば洗脳されてしまいました。（苦笑）

そして清里ミーティングが終わり・・・気づけば SF325 を注文していました。タイヤ館で見積りしたら論吉さんの行列が少し短くなっていたので、あとは勢いで。（爆）

（ネット上ではもっと安く売っているところもありますが、そのあたりは自己責任で。）

ちなみにタイヤ館の担当者もこのタイヤのことは知らず、一緒に探すというハプニングも。BS の WEB サイトでも普通にはたどり着けず、車種別装着リストとして隠れキャラのように紹介されているからしょうがないか。（なお、この一覧を見ると居並ぶハイパフォーマンスタイヤと比較して「安いんじゃないか？」と錯覚を起しそうになるから不思議w）

さて、まだ少ししか走っていないので大したことは言えないけれど、これまでのダンロップ DIREZZA が定規で円を描くとしたら、SF325 は手書きとまでは言わないけれど例えばコンパスで円を描く感じ。道具としてのタイヤに任せればいいのか、より綺麗に描くために自分の技量を合わせる余地があるのかの違い、とまで言うと言いすぎでしょうか。（個人の感想です・・・と、逃げを打っておく）

決して性能が低いというわけではなく、タイヤとの会話を楽しめる（時には悩むかも）と言う点では走ることを楽しむにはうってつけだと言えます。もちろん楽しみ方は人それぞれで、発売当時だってもっと早く、もっと気持ちよくと皆さん自分の好みを目指してタイヤや足回りを交換してきたわけですから、誰にとってもベストと言うわけではないでしょう。自分のように初期から乗り続けて1周回って初期のコンセプトに戻ってみようと思う人や、ロードスター本来の走りを再確認したい人向けでしょうか。

ところで、ブリヂストンのサイトにも開発ストーリーが乗っているのですが・・・おや？どこかで見た顔が。

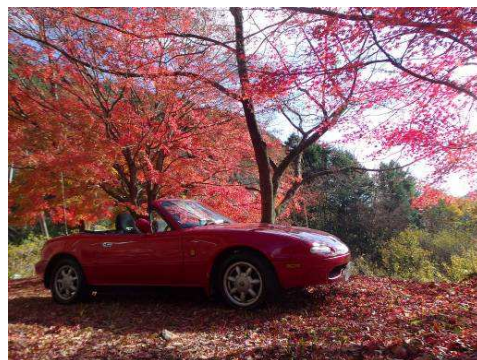
『今なお愛される名車 マツダ初代ロードスターのタイヤ「SF325」 その開発の裏側で』

<https://www.bridgestone.co.jp/blog/2018110201.html>

なお、清里直前に10月分のロットが出荷されていたようですが、私のタイヤは11月出荷のロット。ひとロットも絶対数も小さいですが、コンスタントに売れているようです。NA乗りの皆さん、特に清里で熱いお話を聞いた皆さん。次のタイヤ交換の際には検討してみたいかでしょうか。

ではみなさん、来年もまた清里でお会いしましょう！・・・いや、できればその前に三次でもね。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



**ERFC Newsletter**  
ユーノスロードスターファンクラブ通信  
**2018 vol. 3** 2018年12月吉日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方  
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp